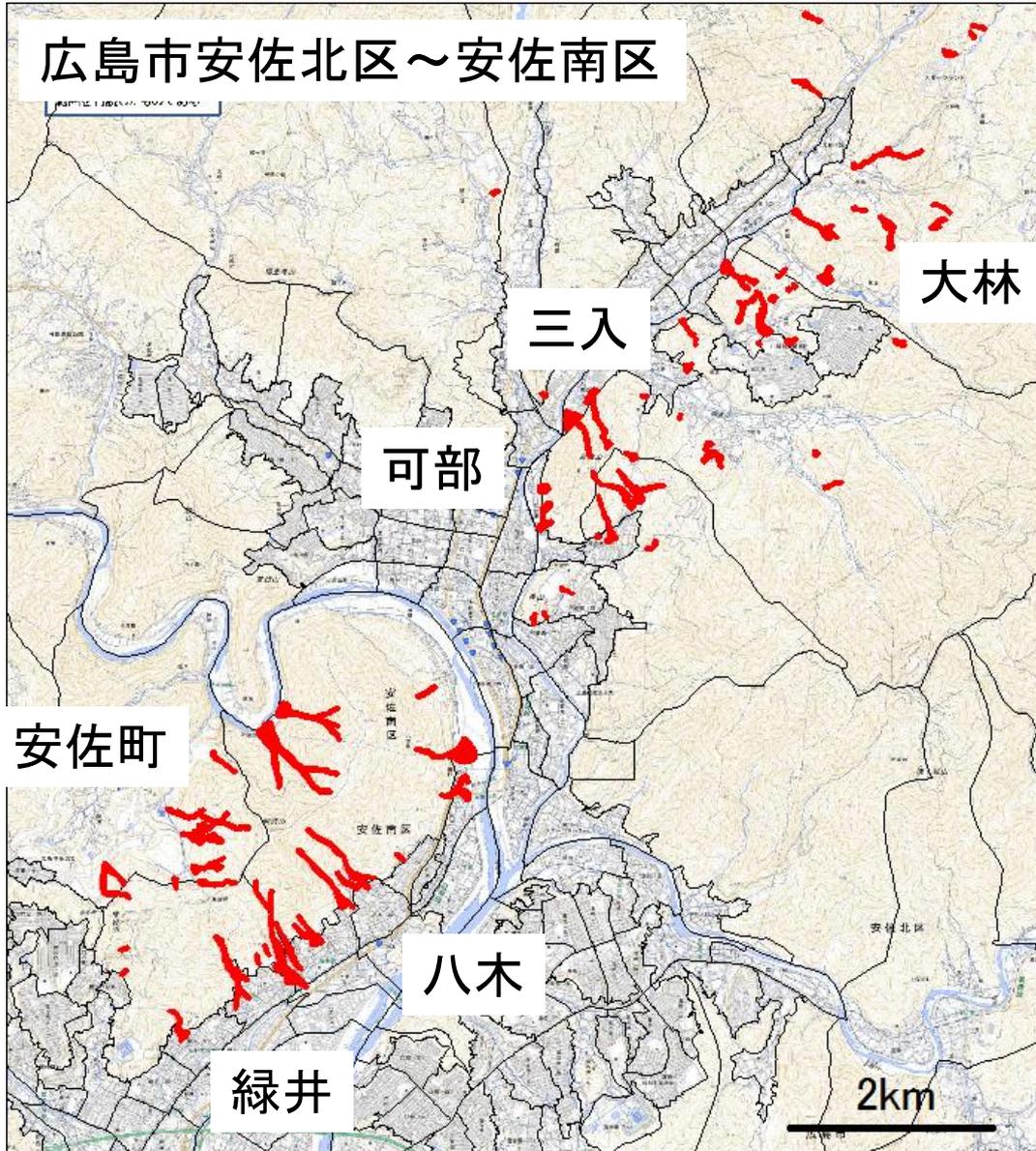


2014年8月20日に発生した 広島豪雨災害における 土石流出範囲と被災建物の分布

三浦弘之(広島大学)

国土地理院による斜め写真の判読結果



国土地理院は、2014年8月20日、21日に撮影した斜め写真から、土石流出範囲を目視判読した。

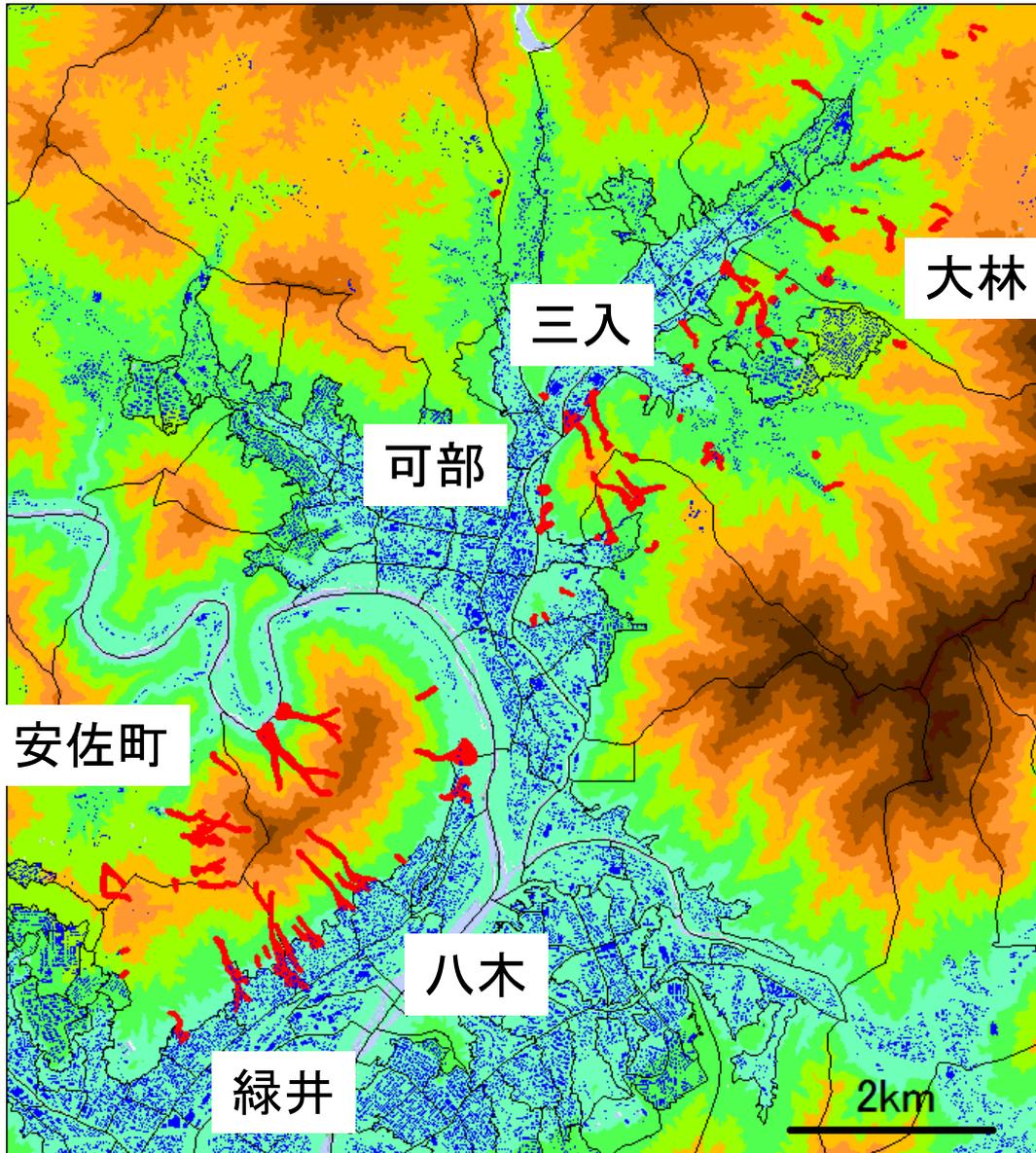
20日撮影：広島市安佐南区，安佐北区

21日撮影：広島市阿武山周辺，可部町（桐原・南原）

判読された土石流出範囲の数 = 77ヶ所

■：土石流出範囲

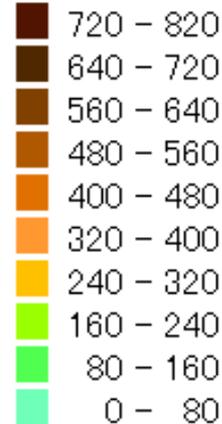
被災地における地形と建物分布



土石流出範囲のポリゴン
内に含まれる建物を推定
被災建物と定義

推定被災建物=501棟
(非住家建物も含む)

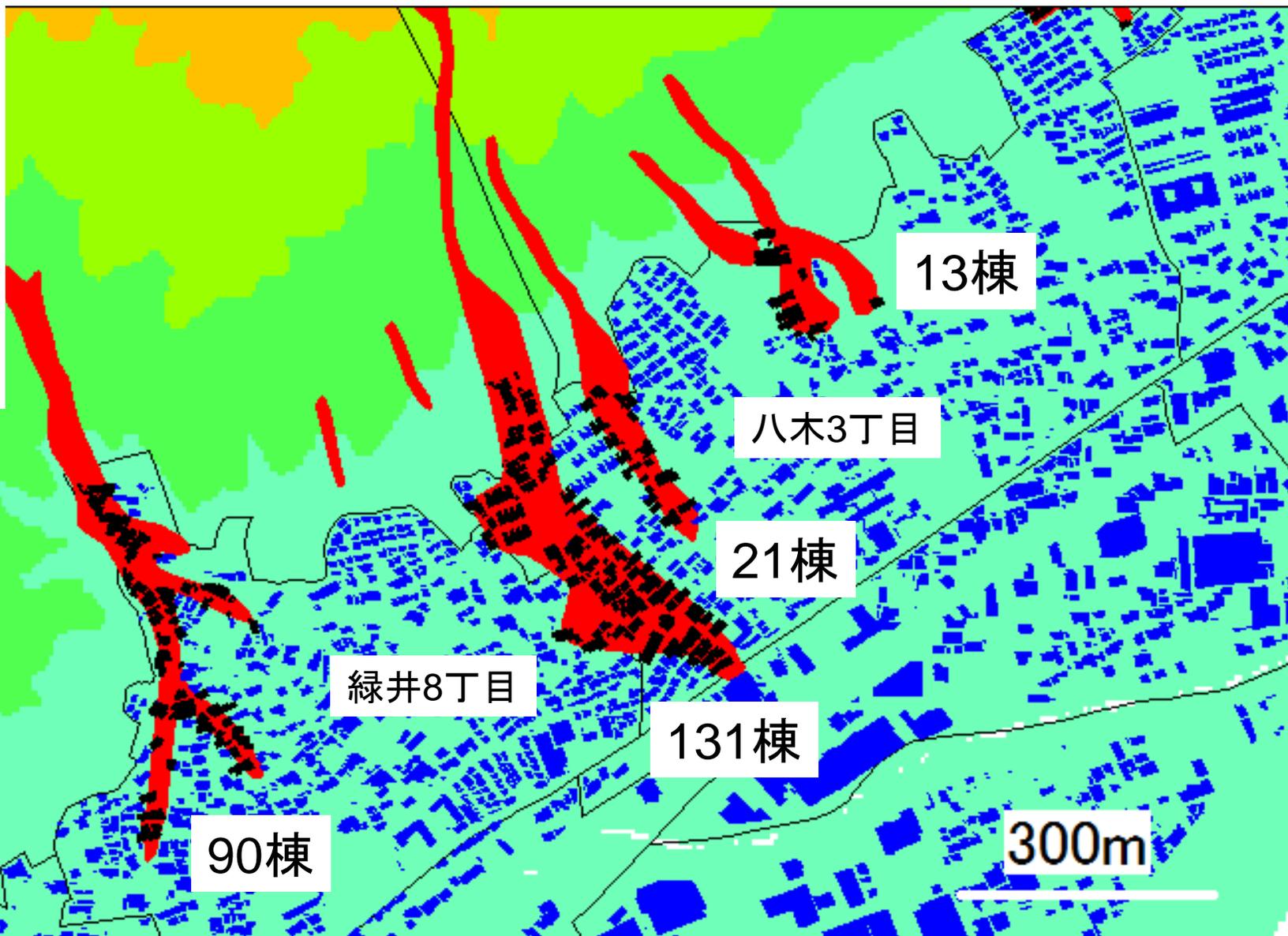
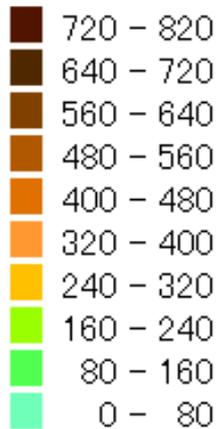
標高(m)



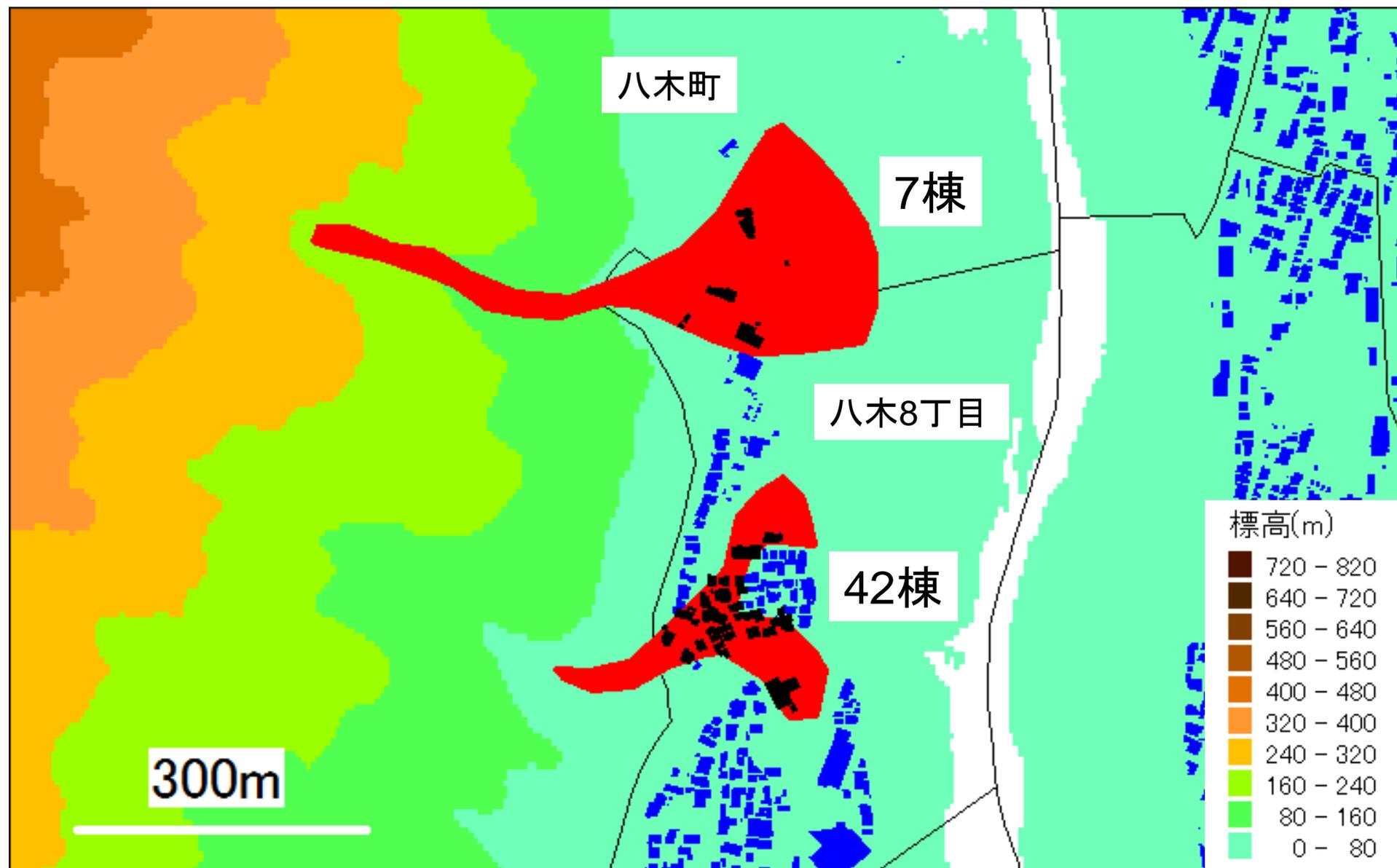
■ : 土石流出範囲

推定被災建物の分布(安佐南区八木3丁目～緑井8丁目)

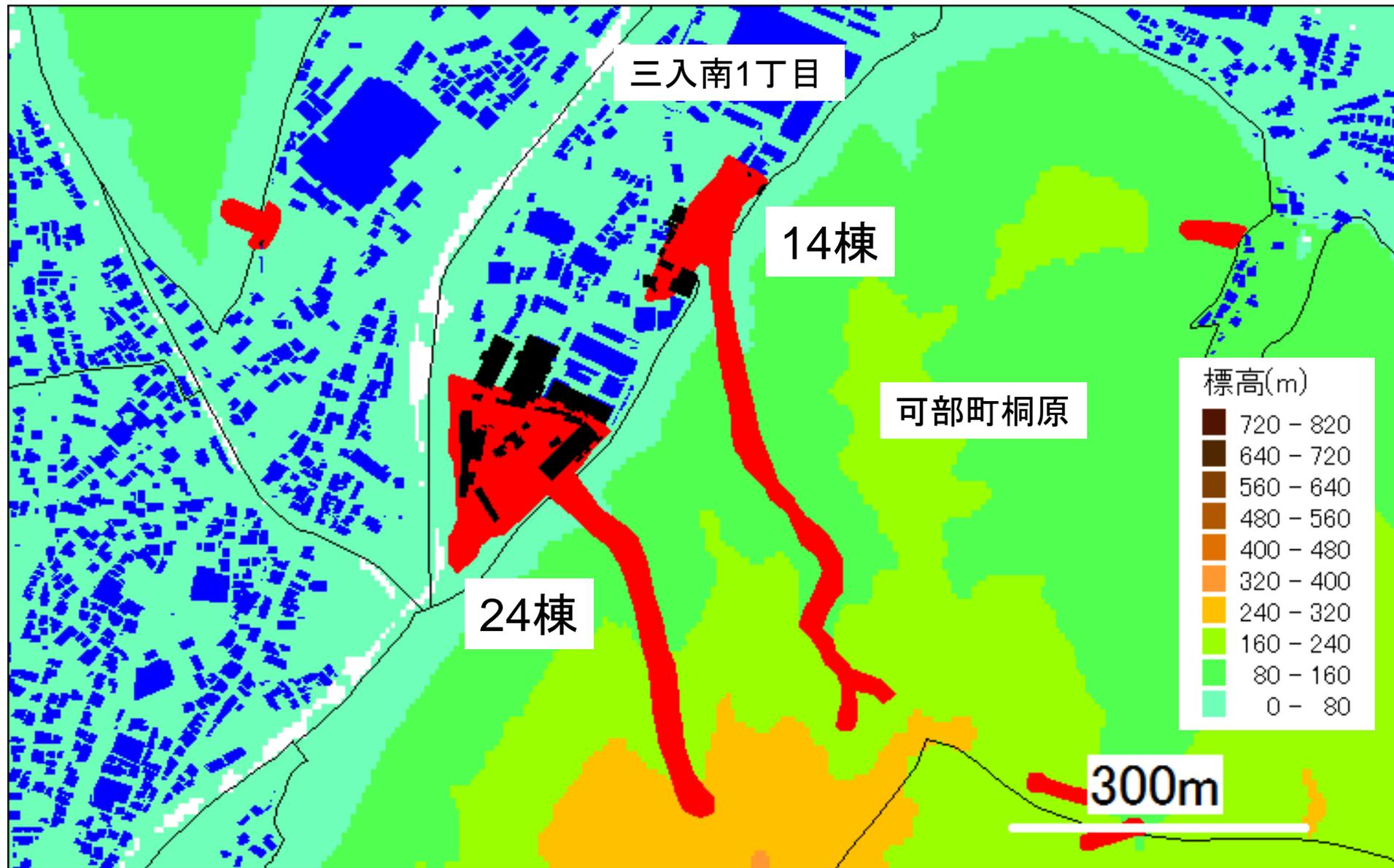
標高(m)



推定被災建物の分布(安佐南区八木8丁目～八木町)



推定被災建物の分布(安佐北区三入南1丁目周辺)



まとめ

- 国土地理院が公開している土石流出範囲を参考にして、被災した建物の棟数を推定した。
- 推定される被災建物棟数(非住家含む)は計約500棟で、最も被災棟数が多かったのは、安佐南区緑井8丁目～八木3丁目、約270棟の建物が土石流出範囲に含まれていた。

亡くなられた方へ深い哀悼の意を表しますとともに、被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。なお、本結果は予備的検討による推定結果です。今後の情報・解析により変動する可能性があります。

謝辞:

国土地理院により公開されている基盤地図情報(標高, 建築物の外周線)のデータを使用させて頂きました。